

文教委員会資料

1 所管事務の調査（報告）

- (1) 「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果について（こども未来局に関する部分）

- 資料1 「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果について（こども未来局）
- 資料2 令和2年度の事務事業の評価結果一覧（こども未来局）
- 参考資料 令和2年度の事務事業の評価シート（こども未来局）

こども未来局

（令和3年8月26日）

「川崎市総合計画」第2期実施計画・ 令和2年度事務事業評価結果について（こども未来局）

1 趣旨

「川崎市総合計画」第2期実施計画における、こども未来局の令和2年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

2 「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果（概要）

「川崎市総合計画」第2期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、こども未来局が所管する事務事業は30事業あり、そのうち目標をほぼ達成したものは23事業、目標を下回ったものは7事業ありました。（表1）。

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（こども未来局）

| 達成状況区分 | | 内容 | 事業数 | 構成比(%) |
|--------|--------------|--|-----|--------|
| 1 | 目標を大きく上回って達成 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。 | 0 | 0.0% |
| 2 | 目標を上回って達成 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。 | 0 | 0.0% |
| 3 | 目標をほぼ達成 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。 | 23 | 76.7% |
| 4 | 目標を下回った | <ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。 | 7 | 23.3% |
| 5 | 目標を大きく下回った | <ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | | 30 | 100.0% |

令和2年度の事務事業の評価結果一覧(こども未来局)

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|---------------|----------|--|--|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 1 | 20101010 | 地域子育て支援事業 | その他 | 地域の中で、親子で遊べる場づくりを推進するとともに、互いに支え合う子育て援助活動を促進するなど子育てに不安を感じる家庭への相談・支援体制づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援センターで子育て情報の提供・相談支援等を実施(延べ利用人数:117,183人※目標222,177人以上) ●ふれあい子育てサポート事業を実施(子育てヘルパー会員登録者数:758人※目標830人以上) ●「子ども・若者の未来応援プラン」に基づく取組及び年度評価を実施し、「子ども・若者の未来応援プラン」点検・評価結果報告書を作成 ●グローバル人材育成事業については、「Stanford e-Kawasaki」を実施。「ハイパールーブ・コンペに挑戦!」については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止 | 511,946 | 500,606 | 4 | P1 |
| 2 | 20101020 | 小児医療費助成事業 | 補助・助成金 | 小児医療に係る医療費の一部を助成することにより、その健全な育成を図り、小児保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象者への医療費助成を適正に実施 | 4,644,487 | 3,538,025 | 3 | P3 |
| 3 | 20101030 | 児童手当支給事業 | 補助・助成金 | 子どもを養育する家庭に、児童手当を支給することで子どもの健やかな成長と発達を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象者への児童手当を適正に支給 ●児童手当受給者に対し、子育て世帯への臨時特別給付金(国制度)を支給 | 22,952,372 | 24,267,039 | 3 | P5 |
| 4 | 20101040 | 児童福祉施設等の指導・監査 | 許認可等 | 施設の増加や多様な運営主体の参画が進む中でも、安定的かつ継続的な法人・施設運営などの質的確保に向け、適切な指導・監査を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●児童福祉施設及び社会福祉法人の指導監査を実施(517件) ●社会福祉法人設立認可及び定款変更認可業務の執行(4件) ●処遇改善の職員給与への反映に係る確認手法を構築し、確認指導を実施 ●人材育成を目的とした会計研修を実施(5回) | 28,531 | 27,854 | 3 | P7 |
| 5 | 20102010 | 待機児童対策事業 | その他 | 共働き世帯の増加などによる保育所等の利用申請者数の増加や、待機児童解消への期待感などに伴い増え続ける保育需要に対応するため、待機児童対策を継続して推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●保留通知発送後の約2週間、平日夜間・土曜日に区役所に相談窓口を開設し、保育所入所相談等を実施(利用者:61人) ●川崎認定保育園と横浜保育室の相互利用を促進(令和3年4月1日時点で横浜保育室を利用する川崎市民:12人※目標29人) | 27,450 | 27,959 | 3 | P9 |
| 6 | 20102020 | 認可保育所整備事業 | 補助・助成金 | 高まる保育ニーズに適切に対応するため、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認可保育所等における保育受入枠の拡大を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●令和3年4月の定員数確保に向け、認可保育所を整備(定員1,551人増※目標1,827人増) | 5,078,344 | 4,254,819 | 4 | P11 |
| 7 | 20102030 | 民間保育所運営事業 | 施設の管理・運営 | 待機児童の解消と多様な保育の推進を図るため、増設される民間保育所・地域型保育事業等の適正な運営の確保に向けた支援及び指導を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所の受入枠を確保(定員数:29,325人※目標29,530人) ●地域型保育事業の受入枠を確保(定員数:1,234人) ●一時保育事業実施園数を拡大(86か所※目標88か所) ●国の処遇改善等加算の適切な執行に向け、キャリアアップ研修を実施するなど、運営を支援 | 54,578,197 | 52,841,736 | 3 | P13 |
| 8 | 20102040 | 公立保育所運営事業 | 施設の管理・運営 | 市内の保育施設における保育の質の維持・向上に向け、民間保育所への支援機能を強化するとともに、在宅で子育てする家族への支援機能を充実します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●中原区保育・子育て総合支援センター、古川保育園の運営を開始 ●公立保育所を民営化(5か所・6園) ●公民保育所職員研修を実施(参加者:5,777人) ●公立保育所における地域の子ども・子育て支援及び民間保育所等への支援を実施 ●WEB会議等を通じた公民の連携や専門実技研修等の人材育成研修を実施 ●川崎区保育・子育て総合支援センター及び公立保育所センター園において、医療的ケア保育を実施(7名) | 1,494,016 | 1,336,594 | 3 | P15 |
| 9 | 20102050 | 認可外保育施設支援事業 | 施設の管理・運営 | 待機児童対策として、認可外保育施設等への支援を継続することにより、安定的な保育受入枠の確保を図るとともに、保育の質の向上を図りながら認可化及び小規模保育事業への移行を円滑に推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●川崎認定保育園利用者への保育料補助を実施(助成児童数:4,126人) ●川崎認定保育園(15園)及びおななか保育室(1園)を認可保育所及び小規模保育事業に移行、児童受入を促進(受入児童数:2,874人※目標4,077人) ●病児・病後児保育事業を実施(7施設) | 5,987,070 | 5,134,024 | 3 | P17 |

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|-------------------|------------------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 10 | 20102060 | 幼児教育推進事業 | 補助・助 成金 | 質の高い幼児教育の推進を図るとともに、認定こども園への移行促進や幼稚園における一時預かり事業を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●私学助成を受ける幼稚園在園者への補助を実施(支給人数:16,722人) ●幼稚園型一時預かり事業を実施(38園) ●幼稚園(2園※目標4園)を認定こども園に移行 ●幼児教育相談員による巡回相談を実施(9園) | 8,752,514 | 8,220,922 | 3 | P19 |
| 11 | 20102070 | 保育士確保対策事業 | イベント 等 | 保育受入れ枠の拡大に伴い、毎年多くの保育人材を必要としていることから、就職相談会や保育所見学・体験型事業の実施、保育士・保育所支援センターの運営、保育士養成施設との連携などにより、保育人材の確保・育成を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●かながわ保育士・保育所支援センターと連携し、就職相談会(5回)や年間を通じた個別就職相談を実施、22人が市内保育施設に就職 ●就職相談会・セミナー等の実施(参加者3,171人)、就職相談会等による求人事業者と求職者のマッチング(マッチング件数:2,684件※目標3,000人) ●保育士宿舎借り上げ支援事業を実施(補助対象者数:1,971人) ●保育士試験対策講座の実施(5回)及び保育士資格取得支援のための補助金交付事業を実施 ●保育士修学資金貸付等を実施(利用者43人※目標120人) | 1,306,216 | 1,138,238 | 3 | P21 |
| 12 | 20102080 | 保育料対策事業 | その他 | 保育料を滞納している世帯に対し、納付指導、督促を徹底するとともに、保育サービスの受益と負担の適正化に向けた取組を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●保育料滞納世帯に対し、電話による納付指導や長期滞納者には滞納処分を実施(収納率:98.92%※目標99.08%) | 225,904 | 231,579 | 4 | P23 |
| 13 | 20103010 | 妊婦・乳幼児健康診 査事業 | 補助・助 成金 | 妊娠出産を安全に迎えるため、母子の健康状態を確認するとともに、乳幼児の発育状況、疾病等の予防や早期発見など母子の健康増進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●特定不妊治療(体外受精、顕微授精)の治療費の一部を助成(助成件数:2,020件※目標2,230件) ●妊婦健康診査費用の一部を助成(助成件数:155,597件※目標167,595件) ●乳幼児健康診査を実施(受診者:62,231人※目標64,900人) ●健診未受診者に対し、電話や訪問による受診勧奨を実施 ●医療機関と連携し、妊婦・乳幼児健康診査受診状況等から把握した要支援家庭を支援 ●妊婦のウイルス検査費用を助成 | 2,003,303 | 1,858,948 | 3 | P25 |
| 14 | 20103020 | 母子保健指導・相談 事業 | 補助・助 成金 | 思春期から、妊娠・出産・乳幼児期までのライフサイクルの各時期に応じて、健全な母性の育成、子育て支援など親と子の健康づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●学校保健と連携し、健康教育を実施(参加者:1,680人※目標6,300人以上) ●妊娠届出時に母子保健コーディネーターによる全数面談を実施 ●日曜日の開催数を増やすなど、参加しやすい両親学級を実施(参加者:3,188人※目標5,950人以上) ●新生児全戸訪問及びこどもには赤ちゃん訪問を実施(実施率:94.9%) ●宿泊型、訪問型に、助産所に通所する日帰り型も加えた、産後ケア事業を実施(利用者:1,832人) ●国の特別定額給付金の対象外となった新生児のいる世帯を対象とした新生児応援事業を実施 | 267,004 | 367,311 | 3 | P27 |
| 15 | 20103030 | 青少年活動推進事業 | イベント 等 | 地域社会全体で、子ども・若者を見守り支え、安全・安心な環境の中で青少年の健全な育成を図るため、青少年を育成・指導する青少年関係団体を支援するとともに、次代の担い手となる自立した成人を育成するため、積極的な社会参加を促進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●青少年団体の活動を支援 ●青少年の健全な育成環境推進協議会による広報啓発活動やこども110番事業情報交換会を開催 ●成人の日を祝うつどいについては感染症対策に配慮しながら実施(協力運営ボランティア40人※目標150人)青少年フェスティバルは中止(協力運営ボランティア0人※目標140人) ●各区青少年指導員連絡協議会と連携し青少年指導員活動への支援を実施 | 36,450 | 34,131 | 4 | P29 |
| 16 | 20103040 | こども文化センター運 営事業 | 施設の 管理・運 営 | 子どもの多様な体験や活動を通じた児童の健全育成を推進するとともに、市民活動の拠点としての活用を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●学校、高齢者施設、地域団体等との連携による多世代交流をはじめとした地域交流を促進(利用人数717,694人※目標1,852,000人) ●外壁補修、屋上防水工事等、施設を計画的に維持・補修 ●小杉こども文化センターを令和2年8月に開設 ●老人いこいの家との連携強化により、多世代交流の促進に向けた取組を実施 | 3,765,677 | 3,721,878 | 4 | P31 |

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|----------------|------------------|--|---|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 17 | 20103050 | わくわくプラザ事業 | 施設の 管理・運 営 | すべての小学生を対象に、学校や地域との連携を図りながら、放課後等に児童が安全・安心に過ごせる場づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●新しい生活様式を踏まえた事業実施(わくわくプラザの登録率36.2%※目標48.9%) ●学校の長期休業日等の平日朝の開室時間を8時30分から8時に継続して変更 ●プラザ室の計画的な維持・補修 ●市立小学校114校で子育て支援・わくわくプラザ事業を実施 | 206,141 | 208,595 | 4 | P33 |
| 18 | 20103060 | 青少年教育施設の管理運営事業 | 施設の 管理・運 営 | 団体宿泊生活や野外活動を通じて心身ともに青少年の健全な育成を図るとともに、子どもの遊び、活動の促進に向けた場を提供します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ハヶ岳少年自然の家で団体宿泊訓練等を実施(利用人数:6,193人※目標96,000人以上) ●黒川青少年野外活動センターで野外自然観察活動等を実施(利用人数:7,452人※目標31,000人以上) ●子ども夢パークで子どもの自発的な活動の支援及び子どもを対象とした各種イベント等を実施(利用人数:53,717人※目標92,000人以上) ●青少年の家で団体宿泊研修等を実施(利用人数:12,686人※目標34,000人以上) | 469,373 | 420,583 | 4 | P35 |
| 19 | 20104010 | 児童虐待防止対策事業 | その他 | 児童虐待の早期発見・早期対応、未然防止に向けた子育て支援や専門的な支援の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら普及啓発や地域の支援体制づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●各区要保護児童対策地域協議会(個別支援会議)を実施(710回) ●児童虐待防止センターでの電話相談を実施(相談件数:1,982件) ●11月の児童虐待防止月間を中心に、児童虐待防止普及啓発活動を実施(18回※目標22回) ●児童相談システムの運用及びカスタマイズにより、児童及び家庭に関する情報の一元的な管理による包括的な支援を実施 ●聖マリアンナ医科大学病院を中心として児童虐待対応のネットワークづくりや保健医療従事者への研修等を実施 ●神奈川県が実施する「かながわ子ども家庭110番相談LINE」に参加し、LINEによる相談窓口を設置 | 124,828 | 121,368 | 3 | P37 |
| 20 | 20104020 | 児童相談所運営事業 | その他 | 増加する児童虐待や複雑・困難化する児童家庭相談に対し、専門性を生かした相談援助を行うとともに、支援が必要な児童の一時保護、里親・施設入所措置等を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ●子ども及び家庭への相談・援助を実施 ●児童福祉司7名、児童心理司3名を増員し、児童相談所体制を充実 ●新型コロナウイルス感染症で保護者の入院等により養育者が不在となった児童の一時保護について、聖マリアンナ医科大学病院と連携して実施 | 418,049 | 452,353 | 3 | P39 |
| 21 | 20104030 | 里親制度推進事業 | その他 | 家庭での養育が困難な児童を家庭と同様の環境で養育するため、里親制度の普及啓発や里親登録数の増加、里親支援機関と連携した里親への養育支援等、里親制度の推進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●区役所等へのチラシの配布、市政だよりへの掲載等による里親制度の普及・啓発活動を実施 ●全体説明会形式、オンライン形式での養育里親説明会(25回)、養子縁組里親登録説明会(16回)を実施 ●里親養育技術の向上のための研修会を実施(3回) ●長期休暇を中心に、乳児院・児童養護施設、地域小規模児童養護施設でふるさと里親事業を実施(登録数:91世帯) ●NPO法人、乳児院、児童養護施設、里親会と連携して養子縁組フォスタリング事業を開始 | 62,057 | 59,202 | 3 | P41 |
| 22 | 20104040 | 児童養護施設等運営事業 | その他 | 児童養護施設等における要保護児童の処遇向上に向け、良好な家庭的環境での養育の推進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●乳児院、児童養護施設及び児童心理治療施設に対する措置費支弁や指導実施等により、社会的養護を推進 ●地域小規模児童養護施設、ファミリーホーム及び自立援助ホームにおける家庭的養護を推進 ●子ども・若者応援基金を活用した学習・進学支援事業及び退所者自立支援事業を実施 | 3,548,061 | 3,659,062 | 3 | P43 |

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|---------------------|------------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 23 | 20104050 | ひとり親家庭の生活 支援事業 | 補助・助 成金 | ひとり親家庭の自立の促進に向けて、生活や就業等に関する相談支援を行うとともに、経済的支援をはじめとする各種支援の取組を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●児童扶養手当を適正に支給(対象者:5,836世帯) ●ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成(対象家庭:12,164人) ●母子・父子福祉センターで、生活・就業相談及び支援を実施(自立支援プログラム策定件数:53件※目標85件以上) ●自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金を適正に支給(高等職業訓練促進給付金新規認定:18件※目標23件以上)。 ●ひとり親家庭の家事・育児等を支援(支援員派遣:延べ394名) ●ひとり親家庭の子どもへの学習等を支援(16か所) ●母子生活支援施設を運営 ●新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、より困難が生じているひとり親家庭に対する支援として、市単独の給付金の支給(6,425件)、国一律の臨時給付金の支給(6,761件)、養育費確保支援事業(3件)を実施 | 3,879,064 | 4,835,668 | 3 | P45 |
| 24 | 20104060 | 女性保護事業 | その他 | 日常生活に様々な困難を抱える女性の相談・支援を行うとともに、DV被害者等への支援に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●女性相談員による相談・保護・自立支援を実施(相談件数2,852件) ●DV被害者等への相談・支援を実施(相談件数718件) ●DV被害者等の緊急一時保護を実施 | 43,766 | 43,868 | 3 | P47 |
| 25 | 20104070 | 子ども・若者支援推進 事業 | その他 | 子ども・若者が自立して社会生活を営むことができるよう取り組むとともに、地域社会全体で子ども・若者を見守り支える取組を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●「かわさきサポートブック」を作成 ●大学生等のボランティアを活用した不登校・ひきこもりへの支援を実施(個別支援活動参加者:73人※目標95人、集団支援活動参加者:55人※目標82人) ●児童家庭支援センターでの相談・支援を実施(相談件数:3,442件) | 124,722 | 150,019 | 3 | P49 |
| 26 | 20104080 | 小児ぜん息患者医療 費支給事業 | 補助・助 成金 | 小児ぜん息患者に対し、医療費の一部を支給することにより、児童福祉の増進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象者に対し、医療費の一部を支給 | 130,462 | 111,170 | 3 | P51 |
| 27 | 20104090 | 小児慢性特定疾病医 療等給付事業 | その他 | 小児慢性特定疾病で治療を受けている児童及び保護者に対し、必要な医療等を安定的かつ継続的に支給することで、負担軽減を図り、子どもが安心して育つ仕組みづくりを推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象者に対し、安定的かつ継続的な医療費等を給付。制度変更後、初めて指定医療機関の更新を実施 ●対象者に対する電話等による相談事業や自立支援に資する研修を実施 | 443,930 | 419,068 | 3 | P53 |
| 28 | 20104100 | 母子父子寡婦福祉資 金貸付事業 | 補助・助 成金 | 児童の学費や就労のための資格取得に伴う費用などの資金貸付を行うことにより、ひとり親家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●各区窓口で修学資金等の申請を受け付けるなど、対象者に対する貸付事業を実施 ●貸付金の滞納整理及び長期未納の防止に向け、夜間電話督促や夜間休日訪問催告を新たに実施(現年度分償還率:82.98%※目標86.46%) | 257,091 | 281,594 | 3 | P55 |
| 29 | 20104110 | 災害遺児等援護事業 | 補助・助 成金 | 災害により、父または母等が死亡または重度の障害を有することとなった児童を扶養している保護者に対し、福祉手当を支給することにより、災害遺児の福祉の増進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●福祉手当を適正に支給 ●小・中学校の入学卒業祝金品の贈呈を適正に執行 | 4,784 | 3,782 | 3 | P57 |
| 30 | 50201040 | 子どもの権利施策推 進事業 | その他 | 子どもが自分らしく育ち、学び、生活していくため、子どもの権利が尊重され保障されるよう、子どもの権利の理解を広める取組や子どもを権利侵害から守る取組を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●条例の解説パンフレットの作成や「かわさき子どもページ」へのイベント情報の掲載等を活用し、様々な世代に向けた広報及び意識普及を実施(広報資料配布部数:179,567部) ●保育園等の職員を対象とした研修等に講師として派遣(研修等参加者:659人※目標1,000人以上) ●第5次行動計画の進捗状況の集約及び公表、第6次行動計画を策定 ●「子どもの権利に関する実態・意識調査」を実施 | 11,715 | 7,374 | 3 | P59 |

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和2年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示したものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和2年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の達成度 | 参考資料掲載頁 | |
|----|----------|--------------|----------|---|---|-------------|-------------|--------|---------|--|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | | |
| 1 | 10101010 | 防災対策管理運営事業 | その他 | 国土強靱化地域計画や地域防災計画等、各種の計画を推進し、市の災害対応力の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●「かわさき強靱化計画」の策定 ●令和元年東日本台風の検証を踏まえた「地域防災計画(風水害対策編)」の修正 ●業務継続計画(自然災害対策編)の策定 ●川崎直下地震での想定死者数の目標を達成 ●救助実施市としての救助実施体制の整理及び各種マニュアルの整備 | 268,502 | 271,569 | 3 | P●● | ①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載 |
| 2 | 10101020 | 地域防災推進事業 | イベント等 | 自主防災組織の育成、民間企業との連携、防災訓練や研修等による、自助・互助(互助)・公助の取組・連携の強化や各主体の防災意識の向上により、地域防災力の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●補助金等の活用による自主防災組織への支援の実施 ●避難所運営体制の強化(会議開催: 68.2%、訓練: 62回) ●タブレット版防災広報誌を活用したコロナ禍における複合災害への対応についての啓発 ●九都県市合同防災訓練を実施したほか、区総合防災訓練を実施(計5回) ●全局を対象とした市災害対策本部図上訓練、災害対策本部研修等(5回)、風水害研修(17回)及び新型コロナウイルス感染症対策研修(16回)を実施 ●災害時の避難所運営に関する新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの策定、感染症対策ポケットガイドの作成 | 124,586 | 67,427 | 4 | P●● | ②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他 |
| 3 | 10101030 | 防災施設整備事業 | 施設の管理・運営 | 防災関連の施設、各種情報通信システム等を整備し、市の災害対応力及び地域防災力の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線屋外受信機の増設(増設数: 5台) ●戸別受信機更新及び施設割込み放送拡充 ●デジタル移動系・多重系防災行政無線の再整備工事実施 ●次期防災情報システムの設計・開発 ●備蓄計画に基づく物資の配備 | 905,541 | 706,532 | 3 | P●● | ③事務事業の概要を記載 |
| 4 | 10101040 | 臨海部・津波防災対策事業 | その他 | コンビナート災害対策や津波対策などを実施し、臨海部の総合的な防災力の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●津波避難施設への標識看板等の設置 ●臨海部広域防災訓練等の実施(情報受伝達訓練等) ●津波被害軽減研究の推進(実証実験の実施・避難シミュレーションの検討) ●津波ハザードマップの改訂 | 2,488 | 4,565 | 3 | P●● | ④令和2年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載 |
| 5 | 10101050 | 帰宅困難者対策推進事業 | その他 | 一斉帰宅の抑制の周知や帰宅困難者用一時滞在施設の確保等を行い、災害時における混乱を抑制するとともに、二次災害を防止します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●帰宅困難者一時滞在施設の指定による収容人数の増加(300人増) ●川崎駅における実動訓練の実施、実動訓練が中止になった駅では、図上訓練や情報伝達訓練を実施 ●新規施設への備蓄品等の配備 ●帰宅支援ステーションの確保及び県の便りを活用した市民啓発 | 2,626 | 2,615 | 3 | P●● | ⑤令和2年度の予算額及び決算額(見込)を記載 |
| 6 | 10101070 | 本庁舎等建替事業 | その他 | 本庁舎等について災害対策活動の中枢拠点としての耐震性能を確保するため、建替の取組を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●新本庁舎超高層棟新築工事の推進 ●新本庁舎復興棟新築工事の仮契約の締結 ●第2庁舎解体設計業務委託の契約の締結 | 2,470,129 | 2,441,545 | 4 | P●● | ⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った |
| 7 | 40205010 | 地域情報化推進事業 | その他 | 市民生活の更なる利便性の向上等を図るため、市内の公衆無線LAN環境の構築を進めるとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●かわさきWi-Fiの利用範囲の拡張(アクセスポイント数: 目標2,200か所のところ実績1,703か所) ●「かわさきアプリ」のリニューアル(アプリダウンロード数: 300,754回) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数: 目標250団体のところ実績241団体) ●更なるオープンデータの公開(公開数: 256データセット) ●川崎市LINE公式アカウントを活用した情報発信 | 43,553 | 32,704 | 4 | P●● | ⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載 |
| 8 | 40205020 | 行政情報化推進事業 | その他 | 「情報化推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効果的・効率的な運用や、働き方・仕事の進め方改革に基づいたICTの活用を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●情報化推進本部会議におけるデジタル化の方向性の提示 ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の事前登録作業の実施 ●モバイル端末やテレビ会議等の利用促進及びテレワーク端末を利用した感染症対策関連部署における在宅勤務の実施 ●本庁舎建替に向けた、「新本庁舎整備を契機としたワークスタイル変革ロードマップ」を各局に提示 | 133,621 | 395,160 | 3 | P●● | |